

みどり
水土里ネット みやぎ

土地改良広報



謹賀新年

第7回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト【ふるさと賞】笑顔のもちつき（撮影地：大崎市）

CONTENTS 1

新春挨拶

CONTENTS 2

「農業農村整備の集い」が開催されました

宮城県土地改良事業団体連合会

2021

1

- P 3 新春挨拶
- P 11 令和2年度 第2回理事会を開催しました
- P 11 令和2年度 第3回理事会を開催しました
- P 12 令和2年度 定期監査及び第3回監事会を開催しました
- P 12 令和2年度 第4回監事会を開催しました
- P 13 「農業農村整備の集い」が開催されました
- P 14 農業農村整備事業関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動が実施されました（東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会）
- P 15 令和2年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業を実施しました
- P 16 令和2年度 土地改良区職員研修会を開催しました
- P 16 宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会 令和2年度総会が開催されました
- P 17 令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会が開催されました
- P 18 令和2年度 管理職員（初級）研修会を開催しました
- P 19 令和2年度 インターンシップ事業を実施しました
- P 20 令和2年度 交通安全講習会を開催しました
- P 21 令和2年度 ハラスメント防止研修会を開催しました
- P 22 令和2年秋の叙勲、令和2年文化の日表彰
- P 23 土地改良区めぐり シリーズ34 ～ 新田北部土地改良区
- P 25 農業水利施設のこんな悩みご相談ください
- P 26 本会会員代表者の就退任関係
- P 26 連合会日誌（8月～12月）
- P 27 今後の行事予定（1月～3月）



新年のご挨拶

宮城県土地改良事業団体連合会
(水土里ネットみやぎ)

会長 伊藤 康志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から9年10ヶ月が経過し、この間、各関係機関のご尽力により被災地の復旧・復興が着実に進んでおりますことに感謝申し上げます。

水土里ネットみやぎでは、令和元年10月に東北地方に甚大な被害をもたらした「令和元年東日本台風」で被害を受けた農地や農業用施設を被災直後から事業主体の要請を受け、関係機関と連携を図りながら復旧・復興の支援を職員一丸となって全力で取り組んでいるところであります。

現在、農村では都市に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化等により、農地、農業用水等の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが危惧されており、農業を魅力ある産業として担い手に引き継いでいくためには、農地の集積・集約、農地の大区画化・汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっております。

加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨などに代表されるように、大規模地震や豪雨災害が頻発しており、国民の生命と財産を守るためには、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策など、農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっております。

このような中、国では令和2年3月に閣議決定された「新たな食料・農業・農村基本計画」において、「産業政策」と「地域政策」を車の両輪として推進し、将来にわたって国民生活に不可欠な食料を安定的に供給し、食料自給率の向上と食料安全保障を確立する施策を推進することとしております。また、令和2年10月には、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行され、防災重点農業用ため池に係る防災工事等の集中的かつ計画的な推進が図られることになりました。さらに、令和2年12月には「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害や大規模地震の発生を見据え、洪水、土砂災害、地震・津波等による人命・財産の被害の防止・最小化のための防災インフラ等の強化を推進するとともに、災害に際し、交通ネットワーク・ライフラインを維持し、迅速な復旧・復興と国民経済・生活を支えるための取組が推進されることになりました。

令和3年度農業農村整備事業関係予算については、農業関係者等からの強い要請と熱意を受け止めていただき、令和2年度第3次補正予算と令和3年度当初予算を合わせて6,300億円の概算決定となりました。

今後も現場のニーズに適切に応えられるよう、安定的・計画的な事業推進のため、引き続き強力に現場からの声を届けていく所存であります。

我々、水土里ネットみやぎは、様々な課題の解決と、人間の存続に欠かすことのできない「水・土・里」を未来に継承していく使命のもと、力強い農業農村の実現に向けて積極的に取り組んでまいりますので、関係する皆様方のお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いつつ、この一年が皆様にとりまして平穏な佳き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



「復興」のその先へ

宮城県知事 村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、「宮城県震災復興計画」の最終年となり、石巻市の内海橋開通や南三陸町の震災復興祈念公園が全体開園するなど、震災で甚大な被害を受けた地域に復興の象徴となる施設が完成し、復興の着実な歩みが感じられました。一方で、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、外出自粛や休業要請等に伴う消費の低迷、観光客の減少、大型イベントの相次ぐ中止決定など、県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼした1年でもありました。その様な状況のなか、宮城県土地改良事業団体連合会及び各土地改良区の役職員の皆様には、県との連携の下、令和元年東日本台風による甚大な被害に見舞われた農地・農業施設の復旧に、全力を挙げて取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

今年は、東日本大震災から10年が経過し、新たな県政運営の指針である「新・宮城の将来ビジョン」の初年度となります。今後、本県の人口は本格的な減少局面を迎えることが想定されており、さらに、地域経済・社会の持続可能性の確保、大規模化・多様化する自然災害や新型コロナウイルスのような新たな感染症の世界的な流行といった時代の転換点に直面する中、その先にある宮城の明るい未来を描いていくことが求められています。「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる「宮城の将来像」の実現に向け、富県宮城の更なる発展や子育て支援・教育分野の充実などに向けた取組を推進するほか、各分野における人材の育成・確保や働き方改革の推進に取り組んでまいります。農業分野においては、近年、全国的に頻発する豪雨や地震といった自然災害に対する農村地域の防災・減災に必要な対策を講じ、災害に強い県土づくりを目指していくほか、引き続き農地の大区画化や担い手への農地集積、高収益作物の導入などを推進し、農業の収益性向上と競争力強化に取り組んでまいります。

農業・農村を取り巻く情勢は年々厳しくなっておりますが、改正土地改良法の趣旨を御理解の上、適切に対応していただくことを通じて、より一層の効率的な組織運営と経営基盤の強化を図るとともに、多面的な機能を有する農地・農業施設の適切な管理を行うことにより、将来にわたって本県農業・農村の発展に大きく寄与されますことを期待申し上げます。

間もなく10年目の節目の「みやぎ鎮魂の日」を迎えますが、決意を新たに、県民の皆様一人一人が幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指して取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



県勢の更なる発展に向けて

宮城県議会議長 石 川 光次郎

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年は「宮城県震災復興計画」の最終年度となり、気仙沼市内の三陸沿岸道路一部区間の開通に加え、石巻市の内海橋や松島町の松島橋が完成したほか、南三陸町の震災復興祈念公園の全体開園など復興の総仕上げに向けた取組が実を結んだ1年だったと感じております。一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、県民生活や経済・雇用情勢などに大きな影響を及ぼした1年でもありました。

農業分野におきましては、宮城米の新品種「だて正夢」を初めとする県産米や、「仙台いちご」、「仙台牛」など良質な県産食材の更なる認知度向上と需要拡大等を推進するため総合的なプロモーションを展開したほか、「スマート農業」の普及・拡大を図るためIoTやロボットといった最先端技術を活用した経営管理の見える化や、超省力・低コスト化による生産性向上の取組を推進するとともに、豚熱等の家畜伝染病への防疫体制の整備・強化や野生鳥獣による農作物被害を軽減する取組など、各種施策の推進が図られました。

県議会におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の拡充を図るため、議員報酬及び政務活動費をはじめとした議会費を削減し、医療提供体制の整備や地域経済対策の推進に向けた財源確保を行うとともに、議会改革推進の観点から「投票率の向上に向けた取組」等に関する報告書を取りまとめたほか、鳥獣被害対策については調査特別委員会を設置し様々な課題や施策に対して調査・検討を行い、県の関係施策に反映するよう提言するなど、県議会の更なる活性化に向けた取組を進めた1年となりました。東日本大震災から10年となる今年は、新たな県政運営の指針である「新・宮城の将来ビジョン」の初年度を迎え、復興の完了に向けたきめ細やかな取組の推進や、富県宮城の更なる成長、躍進に向けて重要な年となります。特に、大規模化・多様化する自然災害に備えるため、森林や農村地域の持つ防災・減災機能を発揮させるとともに、老朽化の進んだ「ため池」などの農業水利施設の耐震化や洪水対策に加え、農業の競争力強化の実現のため生産基盤整備の推進や土地改良施設の維持・更新など、諸課題に対応した持続可能な地域社会づくりが重要であると考えております。県勢の更なる発展に向けて、県議会が一丸となって取り組むとともに、議会改革については、これまでどおり不断の検討を進め、県民の皆さまから信頼される県議会を目指して参ります。

さらに、今年は、昨年延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されるほか、「第40回全国豊かな海づくり大会」が宮城県で初めて開催されます。県民一人ひとりが幸福を実感し、安心して暮らせる元気な宮城を築き上げて更なる発展を遂げ、この一年が皆さまにとりまして良い年となりますようご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新たな時代を見据えた 土地改良事業の推進

東北農政局長 内 田 幸 雄

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、農業生産基盤の強化に向けた農業農村整備事業の推進につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、東北地方に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風及び令和2年7月豪雨で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。東北農政局といたしましても、被災地のニーズの変化を的確に捉え、一日も早い営農再開に向けた支援をしっかりと行ってまいります。

東日本大震災の被災から、まもなく10年が経過しようとしております。この間、農業者の皆様をはじめ、関係機関・団体、事業者各位の懸命な御努力によって復旧・復興が着実に進んでいます。津波により被災した岩手県、宮城県の農地は、ほぼ全域で営農可能な状況まで復旧しました。復旧を契機として、ほ場の大区画化や担い手への農地集積が促進され、大規模で労働生産性の高い農業経営が実現するなど、復興・創生が力強く進められています。

一方、福島県の原子力被災12市町村では、営農再開面積が3割程度にとどまるなど、原発事故により避難を強いられた地域での農業の復興・創生の取組は道半ばです。引き続き、関係機関と連携し、農業者が営農を再開できるよう後押ししてまいります。

さて、本年3月には、食料・農業・農村基本計画に則した新たな「土地改良長期計画」が策定される見込みです。新たな計画では、農村人口の高齢化・減少や大規模自然災害の頻発化・激甚化が懸念される中、「農業の成長産業化」と「多様な人が住み続けられる農村の振興」の実現に向けて、農業・農村が目指すべき姿や、成果を重視した事業の展開方向を明らかにすることとしております。

具体的には、スマート農業に対応した基盤整備や防災重点農業用ため池の対策に加え、国土交通省と協働し、田んぼダム等農地・農業水利施設を活用した「流域治水」の取組等を新たに推進することとしております。特に農業用ため池については、昨年10月に施行された「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、防災工事等を集中的かつ計画的に推進する必要性があり、「流域治水」の取組等とともに、防災・減災、国土強靱化対策のための5か年加速化対策として位置づけられたところです。

東北農政局といたしましても、現場主義を徹底し、地域の皆様の声を良くお聞きしながら、必要な予算の確保に努めるとともに、引き続き、「農業の成長産業化」の観点から、我が国の様々な気候風土に合わせて発展した農業の多様性を生かすための農業生産基盤の整備、また「国土強靱化」の観点から、農業水利施設の長寿命化と農村地域の防災・減災対策を効果的に推進してまいります。

本年が皆様にとって良き一年となることをお祈りするとともに、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
(全国^{みどり}水土里ネット)

会長 二階 俊 博

令和3年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、7月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立っていただいていることについて、心から敬意を表します。

全国で32カ所のため池が決壊した「平成30年7月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年6月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様のお尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和3年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、4,445億円を確保することができました。さらに、令和2年度の補正予算を含めると6,300億円となります。また、防災・減災の為に国土強靱化対策が延長され、新たな5ヶ年加速化対策として、15兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様方にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 **進藤 金日子**

新年明けましておめでとうございます。宮城県の皆様には、昨年「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靱化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）の発刊ができたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなりました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

宮城県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

明けましておめでとうございます。宮城県の土地改良関係の皆さまに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、去年は全国的に新型コロナウイルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた皆さまには衷心よりお見舞い申し上げ、速やかな復旧に向け私も最大限の努力をしまいる所存です。

さて、去年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

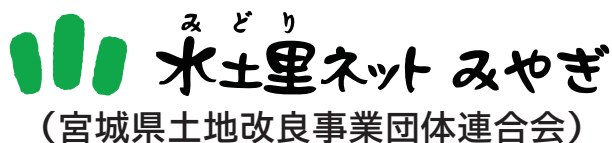
また、皆さま方のご関心も高い、防災・減災、国土強靱化対策については、現行の3カ年緊急対策に続き令和7年度までの5カ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池、農業水利施設等の老朽化対策や予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靱化加速化対策1,155億円、T P P対策700億円）を確保することができました。1月開会の通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せ生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからは進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、宮城県の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



会 長 伊藤 康志
(大崎市長)



副会長 亀谷 久雄
(あぶくま川水系角田地区土地改良区理事長)



副会長 佐藤 稔
(仙台東土地改良区理事長)



専務理事 浅野 直明
(学識経験者)



理 事 加藤 徹
(学識経験者 宮城大学名誉教授)



理 事 渥美 巖
(学識経験者)



理 事 樋口 俊彦
(蔵王町土地改良区理事長)



理 事 浅野 元
(大和町長)



理 事 菅原 勘一
(大崎土地改良区理事長)



理 事 菅原 義幸
(迫川上流土地改良区理事長)



理 事 千葉 敏彦
(迫川沿岸土地改良区理事長)



理 事 鈴木 博
(石巻市北方土地改良区理事長)



理 事 横山 徹
(鳴瀬土地改良区理事長)



総括監事 阿部 公
(登米市豊里町土地改良区理事長)



監 事 齋藤 昌徳
(美里東部土地改良区理事長)



監 事 日下 清一
(亘理土地改良区理事長)

外職員一同

令和2年度 第2回理事会を開催しました

去る8月21日（金）午後3時から大崎市鳴子温泉「鳴子観光ホテル」において、令和2年度第2回理事会を開催し、「令和元年度事業決算関連議案」及び「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」について審議を行いました。

議事では、事務局から令和元年度の事業報告、一般会計収入支出決算書及び財産目録の説明が行われ、原案どおり承認可決されたほか、近年の関連法改正によって強化された、職場でのハラスメント防止対策について規程の設置を審議し、全議案（4議案）について承認可決されました。

理事会に提出した議案は次のとおりです。



令和2年度 第2回理事会の様子

- 第1号議案 令和元年度事業報告の承認について
- 第2号議案 令和元年度一般会計収入支出決算の承認について
- 第3号議案 令和元年度財産目録の承認について
- 第4号議案 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定について

令和2年度 第3回理事会を開催しました

去る12月15日（火）午後1時30分から令和2年度第3回理事会を開催し、「一般会計収入支出補正予算」、「育児・介護休業等に関する規程の一部改正」について審議を行いました。

本年度の補正予算審議では、令和元年東日本台風に関連する災害復旧業務の増加により、対応予算の補正を行うことが承認されました。

また、新型コロナウイルス感染防止対策などの影響による行事や事業計画の変更について報告しました。

上程された3案件について協議した結果、原案どおり承認可決されました。

理事会に提出した議案は次のとおりです。



令和2年度 第3回理事会の様子

- 第1号議案 令和2年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について
- 第2号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- 第3号議案 職員の表彰について

令和2年度 定期監査及び第3回監事会を開催しました

去る11月4日（水）、定期監査及び第3回監事会を以下のとおり開催しました。

令和2年度の受託事業の状況、財産等の状況を監査し、その結果を次回理事会へ報告することにした。

定期監査の監査項目及び監事会の提出議案は以下のとおりです。

定期監査（令和2年11月4日（水）午前10時から）

- 監査事項 （1）令和2年度受託事業執行状況について
（2）令和2年度一般会計予算の上半期分執行状況について

第3回監事会（令和2年11月4日（水）午後1時30分から）

第1号議案 監査結果の処理方法について

令和2年度 第4回監事会を開催しました

去る12月15日（火）午後1時から、第4回監事会を以下のとおり開催しました。

本監事会では、昨年発生した令和元年東日本台風の影響により、災害復旧関連の受託事業量が大きく増加したことなどから、関連する収入及び支出の予算額について増額補正をすることとし、提出した議案について原案のとおり承認されました。



令和2年度 第4回監事会の様子

第1号議案 令和2年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について

「農業農村整備の集い」が開催されました ー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてー

去る11月20日（金）、東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、全国から農業農村整備事業関係者約500名が参集し、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い ー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてー」が、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、多数の国会議員のご臨席のもと開催され、本県からも亀谷久雄副会長をはじめ12名が参加しました。

はじめに、主催者である二階俊博全国土地改良事業団体連合会長（自由民主党幹事長）より、「今年も暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、政権を担う自由民主党は、災害からの復旧・復興を全力で進めていくため、全力で対応していく所存であります。」と挨拶され、来賓として出席された佐藤勉自由民主党総務会長、森山裕自由民主党国会対策委員長、塩谷立自由民主党農林・食料戦略調査会長、野上浩太郎農林水産大臣、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より挨拶をいただきました。

要請文提案では、群馬県土地改良事業団体連合会村上行正常務理事より12項目からなる要請書の提案説明が行われ、全会一致で採択されました。

続いて、荻原丈巳全国水土里ネット女性の会会長（山梨県土地改良事業団体連合会総務課長）から、「水土里ネット女性の会設立状況と活動方針」について事例発表があり、最後に群馬県土地改良事業団体連合会熊川栄会長のかけ声のもと、ガンバロウ三唱で「農業農村整備の集い」は終了しました。



二階俊博全国土地改良事業団体連合会長の挨拶



農業農村整備の集いの様子

農業農村整備事業関係予算の確保並びに東日本大震災からの 再生・復興に関する要請活動が実施されました

(東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会)

去る11月19日(木)、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会による要請活動が実施されました。

当日は、各道県土地改良事業団体連合会の会長並びに専務理事等が参集し、コロナ禍のため最小限の人員で要請活動を行いました。要請は、葉梨康弘農林水産副大臣他大臣以下・政務三役・事務次官以下同省担当部局及び亀岡偉民復興副大臣他大臣以下・政務三役・復興庁担当部局、更には財務省の船橋利実財務大臣政務官他大臣以下担当部局に対し、令和3年度農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請内容の説明を行いました。

農林水産省では、葉梨康弘副大臣から「令和3年度当初予算の確保については一生懸命取り組みます。大事なものについては、補正予算も頑張ります。大区画化だけではなく水田の汎用化が必要である。」との話がありました。

復興庁では、亀岡偉民復興副大臣から「復興庁としては、復興10年をこれからスタートさせていく。今まで仕上がっていない部分を含めて、しっかりと皆様の要望に応じて行きたい。」との話がありました。

更に、財務省では、船橋利実財務大臣政務官から「農業農村整備関係予算というのは極めて重要な予算と認識いたしております。国土強靱化の事業は非常に大切な事業であり、必要な事業が早期に進められるよう予算の手立てに十分配慮して参りたい。」との話がありました。

また、各道県選出国會議員に対しても、同様の内容により強力な要請活動が実施されました。



葉梨農林水産副大臣（右から4番目）への要請



亀岡復興副大臣（中央）への要請



船橋財務大臣政務官（左から4番目）へ要請

令和2年度 海岸防災林再生支援植樹活動 「水土里ネットの森」 保育作業を実施しました

岩沼市寺島字川向地区（平成27年10月植樹／施工面積0.055ha／植樹本数253本）

去る7月30日（木）、岩沼市寺島字川向地区（岩沼潮除須賀松の森（1号区））において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を名取土地改良区職員並びに本会職員総勢5名参加のもと実施しました。本地区はクロマツの生育が良い反面、雑草も木質化し易く、鎌による除草作業が大変困難な状況となっていました。その為、今年度は草刈機で慎重に雑草を刈り払い、その後、クロマツ周辺に残った雑草を手鎌で丁寧に除草しました。

除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが210cmとなり、順調な生育となっていました。



慎重に草刈機を扱う参加者



除草作業後の林内



210cmまで生育したクロマツ

東松島市大曲浜地区（平成29年7月植樹／施工面積0.26ha／植樹本数1,300本）

去る9月16日（水）、東松島市大曲浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を東部支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢31名参加のもと実施しました。本地区は雑草の成長が早く、年2回の保育作業が必要でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の為、今年度の除草作業は1回だけの実施となりました。

除草作業は、先ず参加者が鎌による手作業で、クロマツの苗木が傷つかないように丁寧にクロマツの周りを除草し、その後、草刈機を使用して周辺の雑草を刈り払い、2時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが170cmとなり、順調な生育となっていました。



生い茂る雑草と格闘する参加者



保育作業参加者全員による集合写真



170cmまで生育したクロマツ

亶理郡亶理町吉田字砂浜地区（平成28年6月植樹／施工面積0.47ha／植樹本数2,500本）

去る10月23日（金）、亶理郡亶理町吉田字砂浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を仙台支部・大河原支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢50名参加のもと実施しました。東松島地区と同様の除草作業を行い、生憎の空模様でしたが、昼食を挟みつつ5時間程度で除草作業を終了しました。

除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが最大で265cmとなり、順調な生育となっていました。



雨の中除草作業を行う参加者



保育作業参加者全員による集合写真



265cmまで生育したクロマツ

令和2年度 土地改良区職員研修会を開催しました

去る10月26日（月）、仙台市青葉区の「土地改良会館」において県内33土地改良区の職員53名参加のもと、令和2年度土地改良区職員研修会を開催しました。

県内の農業農村整備の現状や複式簿記の導入に向けた新会計基準による勘定科目の設定方針、多面的機能支払活動組織と土地改良区の連携についてなど、土地改良区の運営にとって参考となる重要な研修となりました。



研修会の様子

宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会 令和2年度総会が開催されました

宮城県農業用水利施設小水力等発電推進協議会令和2年度総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員65団体の県、市町村、土地改良区に対して書面議決書の提出で議決権を行使する開催となりました。上程された議事は、第1号議案から第2号議案まで2案件が審議されました。会員59市町から書面議決書の提出をいただき、回答の結果、全議案とも原案のとおり承認可決されました。

なお、提出された議案については、次のとおりです。

－提出議案－

第1号議案 令和元年度活動報告について

第2号議案 令和2年度活動計画（案）の承認について

令和2年度多面的機能支払交付金に係る 活動支援研修会が開催されました

去る8月4日（火）から8月21日（金）にかけて、宮城県内で多面的機能支払交付金の活動に取り組んでいる活動組織の方々を対象に、『多面的機能支払に係る活動支援研修会』が県内7会場で開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を制限し、検温や手指の消毒、マスクの着用、座席の間隔を空けるなど対策を講じての開催となりました。県内7会場あわせて約700名の方に参加をいただきました。

研修会では、本交付金事業の概要や宮城県内での取組状況、今年度の制度の改正点等について説明が行われました。

また、国立研究開発法人 農業・食料産業技術総合研究機構の遠藤和子様より「多面的機能支払交付金活動による地域資源の管理と農村振興」と題し、講演（一部会場は映像）をいただきました。

研修の日程及び会場等は次のとおりです。

【研修の日程及び会場】

管 内	日 程	会 場（所在地）
大 河 原	8月6日（木）	えずこホール（大河原町）
仙 台	8月19日（水）	多賀城市文化センター（多賀城市）
大 崎	8月21日（金）	パレットおおさき（大崎市）
栗 原	8月5日（水）	栗原文化会館（栗原市）
登 米	8月4日（火）	登米祝祭劇場（登米市）
石 巻	8月7日（金）	遊楽館（石巻市）
気 仙 沼	8月20日（木）	はまなすの館（気仙沼市）

【研修の主な内容】

- ・活動に関する事務等について
- ・活動の実施等について
- ・地域資源の適切な保安全管理のための推進活動について
- ・組織の運営等について
- ・抽出検査・中間確認等について
- ・その他



研修会の様子



遠藤和子様による講演

研修会の詳細につきましては、宮城県多面的機能支払推進協議会が作成している広報誌「ぐるみ」に記事を掲載しておりますので是非ご覧ください。

（協議会HPURL: <http://www.nmk-miyagi.org/>）

令和2年度 管理職員（初級）研修会を開催しました

去る10月29日（木）、本会館5階大会議室において本会並びに会員土地改良区の管理職員を対象とした研修会を開催しました。

この研修会は、本会で策定・運用している「水土里ネットみやぎ 運営プラン」で明示している、業務運営のための人材育成を目的に、管理職員の業務遂行に必要な能力やコミュニケーション能力のスキル向上を養うため、外部講師による講義を行いました。

令和2年度の管理職員（初級）研修会では、本会職員13名、土地改良区職員10名が参加しました。

研修内容は次のとおりです。

【日 程】 令和2年10月29日（木）午前9時30分～午後5時

【場 所】 宮城県土地改良会館 5階大会議室

【研修内容】

日 程	研修内容（概要）	講 師
10月29日（木）	1. 管理職とは	株式会社インソース 講師 若山 博美
	2. 指導・教育のポイント	
	3. 業務推進	
	4. 業務改善	
	5. リスク管理（リスクマネジメント）とは	
	6. まとめ	



若山講師による講義



研修会の様子

令和2年度 インターンシップ事業を実施しました

本会では、高校生、大学生が在学中に研修的な就業体験を行うことで職業観の確立や勉学への動機付けの一層の充実を図るとともに、その成果を就職後に能力発揮することで、実社会への適応能力の高い、実践的な人材の育成に繋がることを目的としたインターンシップ（現場実習教育）を実施しました。

※令和2年度については、高校生のみの実施となりました。

◆高校からの受入（応募＝小牛田農林高等学校から3名）

実施期間：令和2年10月13日（火）～10月15日（木）の3日間

実 施 日	実施プログラム
10月13日（火）	オリエンテーション、本会の概要、農業農村整備の概要、農業・農村施設見学
10月14日（水）	農道測量実習、測量成果図面作成
10月15日（木）	農道設計計画、現場実習総括、マナー講習



農道測量実習



農道設計計画図作成

令和2年度 交通安全講習会を開催しました

去る10月5日（月）、本会館5階大会議室において、本会職員を対象とした交通安全講習会を開催しました。

講師として宮城県仙台北警察署の高橋交通課指導係長をお招きし、宮城県内における交通事故の発生状況と死亡事故の特徴について説明があり、その後、交通事故の発生原因に関するDVDの視聴が約30分行われました。最後に、あおり運転等の道交法改正や、どのような点に注意すれば事故を未然に防止できるかなどのお話をいただき、質疑応答後、約1時間にわたる講習会の一切を終了しました。

今回の講習会に参加した53名の本会職員は、真剣な表情で受講し、交通安全の意識向上に大変有意義な講習会となりました。

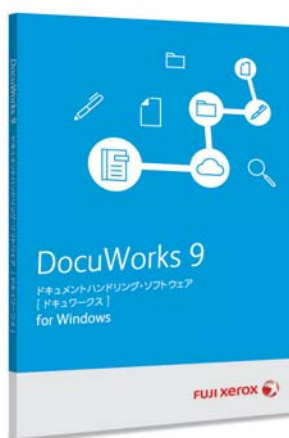


高橋交通課指導係長による講演



講習会の様子（本会館5階大会議室）

FUJI XEROX 



電子文書と紙文書を
一元管理。

ドキュメントハンドリング・ソフトウェア

DocuWorks 9

国内販売累計500万ライセンス達成

富士ゼロックス株式会社

Xerox, Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

www.fujixerox.co.jp

富士ゼロックス宮城株式会社

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル TEL 022-221-2131

www.fujixerox.co.jp/myx/

令和2年度 ハラスメント防止研修会を開催しました

去る9月28日（月）、本会館5階大会議室において、本会職員を対象としたハラスメント防止研修会を開催しました。

関係法令の整備により、職場におけるパワーハラスメントやセクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントの対策強化が図られ、防止対策が事業主に義務付けられました。本会では理事会において「職場におけるハラスメントの防止に関する規程」を制定し、10月1日から施行しました。

これらの主旨を理解してもらい浸透を図るため、外部の研修機関へ依頼し、「ハラスメント防止の概要について」役職員56名参加のもと研修を行いました。

本会では、今後この研修を管理職、一般職員又は若手職員などの階層別に分けて行うことも検討しております。

研修内容は次のとおりです。

【日 程】 令和2年9月28日（月）午後1時30分～午後4時30分

【場 所】 宮城県土地改良会館 5階大会議室

【研修内容】

日 程	研修内容（概要）	講 師
10月29日（木）	1. ハラスメントとは	株式会社インソース 講師 若山 博美
	2. ハラスメント防止対策強化の動き	
	3. パワハラ被害度・危険度セルフチェック	
	4. パワーハラスメント	
	5. セクハラ認識度セルフチェック	
	6. セクシュアルハラスメントとは	
	7. ハラスメントへの対処法	
	8. 明日から行うハラスメント撲滅への行動	



研修会場の様子



若山講師による講義

～令和2年 秋の叙勲～

去る11月3日付けで、内閣府から令和2年秋の叙勲受章者が発表され、本会関係者では、鈴木博氏（石巻市北方土地改良区理事長）が土地改良事業功労として旭日双光章、中野勲氏（秋保町土地改良区理事長）並びに早坂勝一氏（色麻土地改良区理事長）が土地改良事業功労として旭日単光章を受章されました。
このたびの受章を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

旭日双光章



鈴木 博氏
石巻市北方土地改良区理事長

旭日単光章



中野 勲氏
秋保町土地改良区理事長

旭日単光章



早坂 勝一氏
色麻土地改良区理事長

～令和2年 文化の日表彰～

宮城県は令和2年文化の日表彰受賞者を発表し、本会関係者では産業功労として千葉武男氏（北上川沿岸中田地区土地改良区理事長）が受賞されました。

このたびの受賞を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

産業功労



千葉 武男氏
北上川沿岸中田地区土地改良区理事長

土地改良区めぐり

新田北部土地改良区

シリーズ

34

土地改良区の概要

本地域は、宮城県の北東部に位置し、地域の中央部を主要地方道登米・築館線が東から西に横断し一級河川の荒川とJR東北本線に囲まれており、水源とする伊豆沼はラムサール条約指定地で自然環境と調和のとれた農業の推進に努めております。

地区の水田は、昭和10年代より耕地整理によりなされたものの区画が10aと狭小であり用排水未分離のうえ湿田状態にあり、農道の狭小等農地流動化の大きな阻害要因となっていました。早急な生産基盤の整備が不可欠であったため、新田第一土地改良区・伊豆崎土地改良区・茂栗土地改良区の3改良区が平成8年4月に合併され、現在の土地改良区となり、平成10年に「飯島地区」の農地整備事業（経営体育成型）が採択されました。受益面積203.6haで20年の歳月を費やした事業は、平成29年度に完工の運びとなりました。採択年に起こった8月末豪雨災害により激甚指定となった湛水排除事業、平成20年の岩手・宮城内陸地震、そして平成23年の東日本大震災と災害に見舞われながら役職員一丸となり、取り組んでまいりました。

現在では多面的機能支払交付金の広域組織の事務を受託し、地域との連携を図りながら組合員の高齢化と後継者不足解消のため水路や農道等の共同活動に取り組み、揚排水機場等の施設の維持管理に努め、地域の防災、組織の強化に取り組んでいます。



農地整備事業「飯島地区」



茂栗揚排水機場と白鳥

新田北部土地改良区の概要

所在地：登米市迫町新田字小友65－1

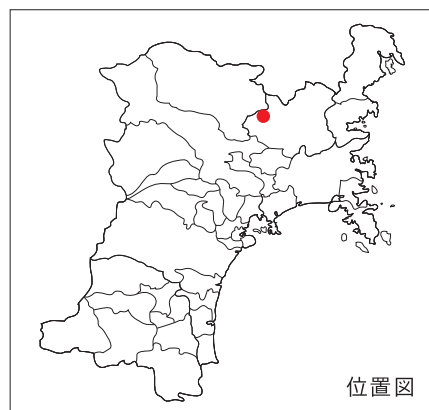
団体表彰：

- ・平成12年 全国土地改良事業団体連合会 銅賞受賞
- ・平成29年 全国土地改良事業団体連合会 銀賞受賞

受益面積：220ha

組合員：145名 理事：8名 監事：2名

職員：2名



位置図

BV シリーズ Ver. 14 リリースしました。

64bit ネイティブ対応で快適な操作を実現。3D 描画機能も搭載

Bigvan al-Nil 2020 発売中！

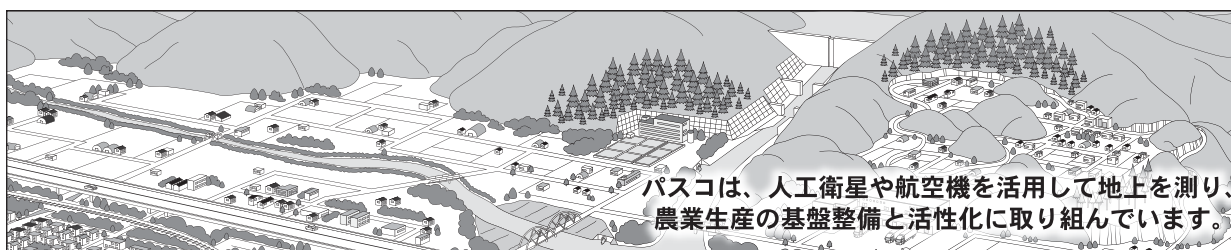
農林土木設計に便利な拡張土木機能

詳細は、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

株式会社 ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

拡張土木オプション

- ・縦横断面図作成機能が新たに追加。
- ・GPS写真配置
- ・SIMAデータ
- ・SIMA-DM
- ・座標一覧
- ・クロソイド
- ・法面記号
- ・土量計算
- ・面積計算
- ・土木ハッチング
- ・路面標識
- ・赤書き
- ・簡易断面
- ・トラバース/逆トラバース
- ・面積集計機能



パスコは、人工衛星や航空機を活用して地上を測り、農業生産の基盤整備と活性化に取り組んでいます。

株式会社パスコ 仙台支店

〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁 205-1

www.pasco.co.jp

株式会社同和建材

〒989-6124

宮城県大崎市古川石森字天王山2-1

電話 0229-24-2755

FAX 0229-24-2756

- ☆ 農業用水資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

より良い農業環境を



お陰様で弊社は創業73周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂きますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング

萱場工業株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号

TEL：022-272-8686

ホームページ：http://www.kayaba-ind.co.jp

支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡、石巻、大崎



本会で行っている農業水利施設の診断は、あらかじめ定めた施設を定期的に診断する【定期診断】と、皆様から要請のあった施設を診断する【要請診断】のふたつがあります。

このうち【要請診断】は適正化事業の採択に必須となっていますが、それだけではありません。

農業水利施設のこんな 悩みご相談ください



- ・最近ポンプの調子が悪いなあ
- ・どここの業者に修理を依頼して良いのか分からない
- ・どんな維持管理を行えば施設の寿命を延ばせるの？
- ・この見積ちょっと高くない？？



- ・管理専門指導員が現地に赴き、無料でアドバイス
- ・農業水利施設に関する相談は何でも受け付けます
- ・とりあえずご一報ください！



問い合わせは
水と里ネットみやぎ 会員支援班

じろーさん こわいよ
022-263-5814 まで

◆◆本会会員代表者の就退任関係◆◆

【仙台支部管内】

◇多賀城市

菊 地 健次郎 → 深 谷 晃 祐 就任【R2.10.25】

連合会日誌



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
8月	4日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	登米祝祭劇場（登米市）
	5日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	栗原文化会館（栗原市）
	6日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	えずこホール（大河原町）
	6日	宮城県	令和2年度 みやぎ農業農村整備地域懇談会（仙台管内）	仙台合同庁舎（仙台市）
	6日	宮城県	令和2年度 みやぎ農業農村整備地域懇談会（大崎管内）	大崎合同庁舎（大崎市）
	7日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	遊楽館（石巻市）
	7日	宮城県	令和2年度 みやぎ農業農村整備地域懇談会（栗原管内）	栗原合同庁舎（栗原市）
	19日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	多賀城市文化センター（多賀城市）
	20日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	はまなすの館（気仙沼市）
	21日	本会	令和2年度 第2回理事会	大崎市
	21日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和2年度 多面的機能支払交付金に係る活動支援研修会	パレットおおさき（大崎市）
	25日	本会	令和2年度 第1回農業水利施設ストックマネジメント研修会	登米吉田土地改良区
	25日～28日	農林水産省	土地改良法第132条第2項の規定に基づく検査	—
9月	10日～11日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和2年度 農用地集団化等換地業務担当者会議	山形県
	16日	本会東部支部	令和2年度 保育作業	東松島市
	16日～17日	本会	令和2年度 第2回換地技術者育成研修会	本会館
	18日	本会 水土保全強化対策センター	令和2年度 土地改良換地士部会第48回通常総会及び研究会	本会館
	24日	全国土地改良事業団体連合会	令和2年度 都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務責任者会議	北海道
	28日	本会	令和2年度 ハラスメント 防止研修会	本会館

	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
10月	5日	本会	令和2年度 交通安全講習会	本会館
	14日	全国土地改良事業団体連合会	令和2年度 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議 (オンラインによる概算要求の説明会)	本会館
	20日～21日	本会北部支部	令和2年度 北部支部役職員研修会	新潟県
	23日	本会仙台支部	令和2年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」 保育作業	亶理町
	26日	本会	令和2年度 土地改良区職員研修会	本会館
	26日～27日	東北・北海道土地改良事業団体 連合会連絡協議会	令和2年度 事務主任者会議	本会館
	27日	宮城県	令和2年度 農業農村整備事業等に関する意見交換会 (キャラバン)	本会館
	28日	本会仙台支部	令和2年度 水土里ネットみやぎ議員懇話会と管内土地改良区との 意見交換会	本会館
	29日	本会	令和2年度 管理職員(初級)研修会	本会館
	29日～30日	本会東部支部	令和2年度 東部支部役員研修会	青森県
	30日	本会北部支部	令和2年度 北部支部管内土地改良女性職員研修会	岩手県
	30日	東北・北海道土地改良事業団体 連合会連絡協議会	令和2年度 第1回事務責任者会議(オンラインによるWeb会議)	本会館
11月	4日	本会	令和2年度 定期監査及び第3回監事会	本会館
	5日～6日	本会仙台支部	仙台支部会員代表者及び職員合同研修会	埼玉県
	5日～6日	東北・北海道土地改良事業団体 連合会連絡協議会	令和2年度 東北・北海道ブロック会計指導員会議	秋田県
	9日	本会北部支部	令和2年度 水土里ネットみやぎ議員懇話会と管内土地改良区との 意見交換会	アインバルラ浦島 (大崎市)
	10日	本会大河原支部	令和2年度 水土里ネットみやぎ議員懇話会と管内土地改良区との 意見交換会	ホテル原田inさくら (柴田町)
	12日	本会東部支部	令和2年度 水土里ネットみやぎ議員懇話会と管内土地改良区との 意見交換会	プレセティア内康 (東松島市)
	13日	本会大河原支部	大河原支部女子職員研修会	亶理町、名取市
	18日	本会仙台支部	仙台支部女子職員研修会	石巻市
	19日	全国土地改良事業団体連合会	令和2年度 都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務 責任者会議	東京都
	19日	東北・北海道土地改良事業団体 連合会連絡協議会	農業農村整備事業関係予算の確保並びに東日本大震災からの 再生・復興に関する要請活動	東京都
	20日	全国土地改良事業団体連合会	「農業農村整備の集い」	東京都
	25日～26日	東北・北海道土地改良事業団体 連合会連絡協議会	令和2年度 東北・北海道ブロック管理主任者会議及び施設・ 財務管理強化対策専門指導員会議	福島県
	26日～27日	本会大河原支部	大河原支部会員代表者及び職員合同研修会	福島県
12月	15日	本会	令和2年度 第3回理事会、第4回監事会	本会館
	25日	本会	仕事納め式	本会館

今後の行事予定



1月	4日	本会	仕事始め式	本会館
	15日	全国土地改良事業団体連合会	令和2年度 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議 (オンラインによる政府原案予算説明会)	本会館
	20日	本会北部支部	令和2年度 北部支部役職員研修会	大崎市
2月	5日	東北農政局	直轄災害復旧関連区画整理事業 仙台東地区 完工式	仙台市
	上旬	本会	第8回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査会	本会館
3月	4日	本会	令和2年度 第4回理事会	本会館
	16日	本会	第62回通常総会	本会館

SEKISUI

タイマー機能と水位センサーで 水位管理の省力化を実現！ (ICTの活用も可能です)

水田水管理省力化システム
多機能型自動給水機

水まわり

省力化で

- 水田経営の大規模化
- 果樹、園芸の作業時間確保

かけ流し
防止で

- ポンプ運転の電気代の節約
- 肥料や泥の流出防止で水質保全

積水化学工業株式会社

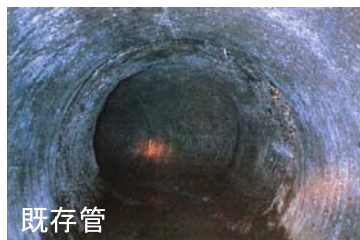
環境・ライフラインカンパニー 東北支店 TEL.022(217)0607

エスロンタイムズ on the Web

<https://www.eslontimes.com>

非開削で既設管を 水密性抜群の管に スピード更生！

農業用SPR工法

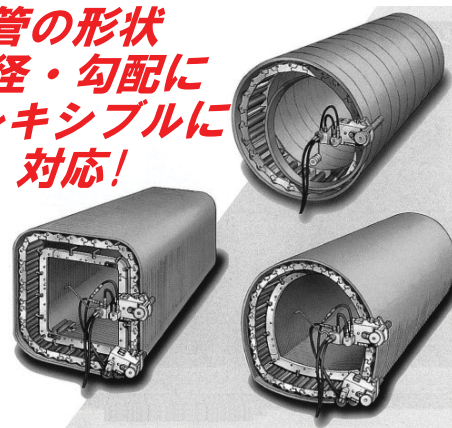


既存管



SPR 更生後

管の形状
口径・勾配に
フレキシブルに
対応！



日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車 39-3

TEL・FAX 022-392-5981

日本SPR工法協会

TEL 03-5209-0130(代)

ホム®-ジ <http://www.spr.gr.jp/>



● 発行 2021年1月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号

Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390

<http://www.mlw.or.jp>

● 印刷

株式会社 イシカワ印刷

〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9

Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035

